

## 安全データシート〈SDS〉兼 要約GHS分類シート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: インパクトデスケラー プレミア〈IMPACT DESCALER PREMIRE〉 インパクトデスケラー ハード〈IMPACT DESCALER HARD〉
製造者	: Precision Dynamics, INC.
原産国	: アメリカ合衆国 (U.S.A)
日本国総販売管理元	: 株式会社 Wing M
住所	: 〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目4番8号
電話番号	: 011-748-3103
FAX番号	: 011-748-3104
メールアドレス	: info@wing-m.net
緊急連絡先	: 011-748-3103

## 2. 危険性有害性の要約

## 化学品のGHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体	区分外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
酸化性液体	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷 眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
発がん性	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外

## 健康有害性

急性毒性 (経口)	区分 4
急性毒性 (経皮)	区分 4

## 環境有害性

水性環境有害性 短期(急性)	区分 4
水性環境有害性 長期(慢性)	区分 4

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## ラベル

Labeling(REGULATTION(EC)No 1272/2008)

## 危険シンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H290 金属腐食  
H302 飲込むと有害  
H315 皮膚刺激  
H319 強い眼刺激

**注意事項****安全対策**

取扱後は手や接触箇所の皮膚をよく洗うこと。(P264)  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)  
 ミスト/スプレーの吸入を避けること。(P261)

**応急措置**

皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
 特別な処置が必要な場合は、医師に診断又は手当てを受けること。本SDSの4.を参照。(P321)  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師に診断又は手当てを受けること。(P332+P313)  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362)  
 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。  
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。(P305+P351+P338)  
 眼の刺激が続く場合は、医師に診断又は手当てを受けること。(P337+P313)

**3. 組成・成分情報****化学物質・混合物の区別****化学物質(混合物)**

物質名	CAS No.	Weight - %
塩酸塩ベーススケール除去複合物	7647-01-0	9
スケール除去加速剤	18162-48-6	11.4
酸性着色料	1934-21-0	0.03
水	7732-18-5	79.57

供給者による知見及び濃度において、現時点で追加添加物はなく  
 健康や環境に対して危険品として分類される場合が発生した際は本項に記載する。

**4. 応急措置****標準応急処置方法****吸入した場合**

空気の新鮮な場所へ移動する。  
 意識を失ったり、呼吸が止まるような場合には医師の手当てを受ける。  
 症状が残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。

**皮膚に付着した場合**

大量の水で最低15分以上洗う。汚れた衣類は取替え、再度使用する前に洗浄すること。  
 症状が残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。

**眼に入った場合**

瞼を開いて全表面が流水に接するようにして、大量の水で最低15分以上洗い  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し洗浄を続け、医師の手当てを受ける。  
 症状が残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。

**飲み込んだ場合**

飲み込んだ場合には無理に吐かせない。大量の水又は数杯の牛乳を飲ませる。  
 意識がない場合、一切の物を口に入れてはいけない。

**急性及び遅延による最重要症状及び影響****眼**

深刻な眼刺激及び火傷をする。  
 症状は、赤み、腫れ、痛み、破れ、視界のぼやけを含むことがある。  
 薬品結膜炎など眼を傷める恐れがある。負傷度合いは、濃度と被液範囲によって変わる。

**皮膚**

皮膚刺激と熱傷の恐れがある。  
 症状は、赤み、かゆみ、腫れ、痛み及び発疹を含むことがある。  
 人によって、皮膚炎に接液することで皮膚感作やアレルギーを引き起こす恐れがある。  
 負傷度合いは、濃度と被液範囲によって変わる。

**吸入**

ミストや蒸気が鼻、のど及び気道の深刻な炎症を起こす恐れがある。  
 症状は、のどの痛み、鼻汁、咳及び息切れなどを起こす恐れがある。

**飲み込み**

飲み込むと有害である。腹痛、吐き気、嘔吐及び下痢などの  
 消化器の深刻な炎症や熱傷を起こす。唇、口、のど及び胃腸の熱傷を起こす恐れがある。

**慢性**

肌や呼吸機能の障害を持つ人によっては、本製品の影響を受けやすい。

**5. 火災時の措置****引火点**

N/A

可燃限界	N/A
消火剤	散水、泡、炭酸ガス
消火方法	製品が火災に巻き込まれた場合、NIOSH/MSHA 認証の時給式呼吸装置を使用する。 本製品は、非可燃性である。
非常時火災及び爆発危険事項	皮膚や眼の保護具を着用する。爆発の恐れはない。 可能であれば、消防は製品は含まれた水を環境汚染を避けるために水路、下水道若しくは排水溝に放流しないようにする。

## 6. 漏出時の措置

露出や放出時の対応手順	本製品は、生分解性がある。適切な保護具、ゴム手袋、ゴーグル若しくは安全メガネを使用する。 露出は拭き取り大量の水で中和する。残留分に炭酸ナトリウム溶液をゆっくり加える。 溶液は、19Lの水に4.5kgの炭酸ナトリウムを入れる。 この手順により、露出の残留分は、通常pH5~8になる。
-------------	--

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8.暴露防止及び保護装置』に記載の適切な保護具を着用する。 眼や皮膚や衣類に接液させない。 通常の使用において呼吸器への危険がある場合は十分な換気若しくは適切な呼吸器用保護具を使用する。

保管	
安全な保管条件	本製品は、幅広い環境温度(-15℃ ~ 82℃)に対応する。 保管する場合、確実に密閉されていることを確認。保管期限は2年とする。 物理的損傷を避ける様にする。開封済みの容器は蓋をし、漏れない様に直立にて保管。 製品の残留を含む容器は、危険品となる恐れがある。環境汚染を避けるため、適切な封をする。 閉鎖場所では換気すること。服用しないこと。子供から遠ざけること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 使用パラメータ制御 作業暴露限界

CAS Number	成分	OSHA PEL - TWA	ACGIH TLV	NIOSH - TWA
7647-01-0	HCL	5ppm	2ppm	-----

### 暴露管理

技術措置	適切な保護具を着用すること。適切な排気をする。局所排気が望ましい。
個別保護措置	製品と長期に渡る繰り返し接触を避けるため保護具を着用すること。 保護具は、作業場所、危険品の取扱い濃度や量に合わせて選択すべきである。 保護具の化学薬品耐性は、供給者に確認すること。
衛生措置	保管設備や取扱いには、洗眼場所や安全シャワーを近くに設置すること。 汚れた衣類は取替えること。皮膚保護の予防措置を取ること。 使用後は、飲食若しくはトイレの使用前には手を洗うこと。
眼/顔の保護	側面保護付き安全眼鏡の使用を推奨する。
手の保護	3.組成、成分情報に記載された成分に対する手袋会社推奨の保護手袋を着用する。 手袋は、薬品や油が浸透しないものを使用する。
その他の保護措置	保護着。必要に応じて保護靴。
呼吸器保護	通常使用においては不要。必要に応じてフィルター式防塵マスク使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的性状	[液体]	蒸気圧	[20mm.Hg]
色	[琥珀色]	蒸気密度 (空気 = 1)	[1.27]
臭い	[果実臭]	蒸発率 (ブチル基酢酸塩 = 1)	[2.0]

pH	[pH<0.8]	水溶性	[完全水溶性]
沸点	[105℃]	引火性	[無し]
比重	[1.06]	融点	[-17℃]

## 10. 安定性及び反応性

不安定要因条件	通常条件下において安定。
不適合品	アルカリ製品と混合しない。
分解危険製品	特になし
危険重合要因条件	特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	[区分4]	皮膚感作性	[区分外]
急性毒性（経皮）	[区分4]	生殖細胞変異原性	[分類できない]
急性毒性（吸入:ガス）	[分類対象外]	発がん性	[区分外]
急性毒性（吸入:蒸気）	[分類対象外]	生殖毒性	[分類できない]
急性毒性（吸入:粉塵）	[分類対象外]	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	[区分外]
急性毒性（吸入:ミスト）	[分類対象外]	特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	[区分外]
皮膚腐食性・刺激性	[区分外]	特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	[区分外]
目に対する重篤な損傷/目刺激性	[区分外]	（反復暴露）	
呼吸器感作性	[分類できない]	吸引性呼吸器有害性	[区分外]

本製品は、米国国家毒性プログラム(NTP)や国際がん研究機関(IRAC)における発がん性物質を一切含んでいない。

## 12. 環境影響情報

毒性	本製品の環境への大量放出は、水界生体のpHを水生や土壌の微生物に致命的な<0.8に下げる可能性がある。
残留性・分解性	本製品の有機物はすぐに分解される。
生体蓄積性	本製品は、生体蓄積性がないとされる。
土壌への流動性	土壌への高移動性を期待される。
PBT及びvPvB評価結果	PBT/vPvB評価はなし。
他の逆影響 追加環境情報	製品には、表面水、排水若しくは土壌を入れない。 環境毒性は、専門外の取扱いや廃棄の場合には除外される。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	この製品は、通常の使用で希釈又は中和される。 元の容器に戻し入れ、非有害性物質として廃棄することを推奨する。 残留物は、通常の汚水槽への下水処理システムへ廃棄することができる。 廃棄に関する法律は、市町村などによって大幅な相違があるので 各自治体に確認の上、排水基準を遵守して廃棄する。
取扱い及び保管に際しての事前注意事項	取扱い時には、適切な工業衛生習慣を遵守するべきである。 使用後や完全消費した本製品は、非危険品である。

## 14. 輸送上の注意

【国連分類】	: 輸送方法は、参考情報とする。顧客詳細法規や容器のサイズ、梱包の種類及び輸送方法について 49 CFR 100 - 177, IMDG, IATA, EC, United Nations TDG 及びWHMIS (Canada) TDG の情報マニュアルに従うことを強く進める。
【注意事項】	: 容器からの漏れがないことを確認し、転倒、落下、損傷の無いよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

<b>労働安全衛生法</b>	: 特定化学物質第3類物質（特定化学物質障害予防規則第2条 第1項 第6号） : 該当有り（第57条の2通知対象物）施行令別表第9 98 塩化水素 （濃度1%を超えているものが対象）
<b>水質汚濁防止法</b>	: 該当有り（第3条 第1項（排水基準））
<b>毒物及び劇物取締法</b>	: 該当しない
<b>消防法</b>	: 該当しない
<b>PRTR法</b>	: 該当しない
<b>大気汚染防止法</b>	: 該当しない
<b>輸出貿易管理令</b>	: 該当しない
<b>化審法</b>	: 該当しない
<b>特化則</b>	: 第3類物質

※ 量販店等で販売を行い不特定多数が使用できる比較的安全性高い製品の為、注意事項を遵守し大量貯蔵ではない作業を行う場合は労働安全衛生法、並び特化則に該当しない。

## 16. その他の情報

- ・ 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しており、いかなる保証をするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂される場合があります。
- ・ 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱には充分注意してください。
- ・ 本安全データシートは通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な扱いの場合には十分な安全対策を実施の上で使用ください。
- ・ 全ての化学製品には、未知の有害性が発生する可能性が有り万全とは言えない為、取扱いには十分注意し使用責任者の責任にて適正に取り扱ってください。
- ・ 原液で使用すると、ステンレス鋼板表面などは変色（酸焼け）する可能性がある為、事前に販売者にご相談ください。
- ・ 洗浄対象物のサイズ、スケールの量により希釈度合、使用量、使用時間が変化するため、事前に販売者へ確認すること。
- ・ 通常環境温度で使用し、温度上昇の著しい場所での使用は避ける。
- ・ 使用の際は、安全性・有害性の判断を使用者の責任で行う。

### U.S. 連法規制

- ・ OSHA Hazard Communication Standard: 本製品は、OSHA 29 CFR 1910.1200に従って、非危険品として分類される。
- ・ OSHA Process Safety Management Standard: 本製品は、OSHA PSM Standard 29 CFR 1910.119に従って規制されていない。
- ・ EPA Risk Management Planning Standard: 本製品は、EPA RMP Standard (RMP) 40 CFR Part 68に従って規制されていない。
- ・ EPA Federal Insecticide, Fungicide and Rodenticide Act: 本製品は、FIFRA, 40 CFR Part 150に殺虫剤として登録されていない。
- ・ TSCA Status: 本製品の含有物は、有害物質規制法(TSCA)に記載されている。
- ・ Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA)
- ・ SARA 313 Information: 本製品の物質は、the Emergency Planning and Community Right-to Know Act of 1986の Section 313の規定値である基準値(僅少)を超えない。
- ・ SARA Section 311/312 Hazard Categories: 重大な健康被害
- ・ SARA 302/304 Extremely Hazardous Substance: 本製品の含有物は、SARA, Title IIIの要求事項に従っている。
- ・ SARA 302/304 Emergency Planning & Notification: 本製品の物質は、SARA, Title IIIの要求事項に該当するものはない。
- ・ Comprehensive Response Compensation and Liability Act (CERCLA): None本製品の含有物は、CERCLAに規定される危険廃棄物の基準値(僅少)を超えない。
- ・ Clean Air Act (CCA): 本製品は、CAA Section 112 (b)にしていされる有害大気汚染物質(HAPs)に指定されている物を含まない。
- ・ 本製品は、Class 1 オゾン破壊物質を含まない。本製品は、Class 2 オゾン破壊物質を含まない。
- ・ lean Water Act (CWA): 本製品の物質は、CWAに規定される危険物質を含まない。  
本製品の物質は、CWAに規定される優先汚染物質を含まない。  
本製品の物質は、CWAに規定される有害汚染物質を含まない。
- ・ U.S. 州規制 California Prop 65, Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act of 1986:  
本製品は、カリフォルニア州においてガンや生殖被害を及ぼす原因となる物質を含んでいない。
- Canadian Controlled Products Regulations (CPR): 本製品はCPRの危険基準に従って分類され、SDSはCPRに必要なとされる情報を含む。
- Canadian Ingredient Disclosure List (IDL): 塩化水素 (7647-01-0)
- Canadian National Pollutant Release Inventory (NPRI): 本製品に含まれる化学物質で、NPRIに登録されている物はない。

## Global Chemical Inventory Lists

国	リスト名称	リスト表示*
Canada	Domestic Substance List (DSL)	Yes
Canada	Non-Domestic Substance List (NDSL)	No
Europe	Inventory of New and Existing Chemicals (EINECS)	Yes
United State	Toxic Substance Control Act (TSCA)	Yes
Australla	Australian Inventory of Chemical Substances (AICS)	Yes
New Zealand	New Zealand Inventory of Chemicals (NZIoC)	Yes
China	中国現有化学物質名録(IECSC)	Yes
Japan	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(ENCS)	No
Korea	韓国既存化学物質リスト(ECL)	Yes
Philippines	フィリピン化学品および化学物質インベントリ(PICCS)	Yes

\*"YES" 本製品の含有物は、各国リストの要求事項に従っていることを示す。

\*"No" 1つ若しくは複数の本製品の含有物が、リストに記載されておらず、リスト外になっていることを示す。